

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	①-20	実施計画番号	20	事業開始年度	27
事務事業名	地域おこし協力隊事業			事業終了年度	31
担当課名	観光推進課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	関連事務事業				
背景や経緯等	総務省事業「地域おこし協力隊」を活用し、観光再生や地域おこし活動、住民の生活支援等の地域協力活動を実施するとともに、隊員の定住・定着を図る。				
事務事業の目的	観光客の入込数が伸び悩み、地域の活力が失われている十和田湖畔地区や焼山地区において、観光の再生や地域活性化を図る。				
実施状況	平成27年11月に焼山隊員委嘱、平成28年2月に休屋隊員委嘱。 焼山隊員は、焼山、奥入瀬地区及び各地域の観光素材等の調査を行うとともに、地域住民との連携体制づくりを実施中。				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)		3	3
	活動日数(日)		30	36
	人件費(千円)	0	3,240	3,888
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

【事業費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)		0	3,659	8,709

【指標】

活動指標	活動指標名①		協力隊員の委嘱			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			人	-	2	-
	活動指標名②		イベント企画			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
	イベント実施		回数	-	-	4
成果指標	成果指標名①		イベント集客力			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
	参加・来場者	数	目標値	-	-	370
			実績値	-	-	
			達成度(%)			
	成果指標名②					
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			目標値			
		実績値				
		達成度(%)				

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	①	市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総務省が市町村に対し、地域力の維持、強化を図るために支援している事業である。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	総務省が市町村に対し、地域力の維持、強化を図るために支援している事業である。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
総務省が市町村に対し、地域力の維持、強化を図るために支援している事業である。										
②	実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2	4					
有効性	③	活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2名の隊員を委嘱し、活動している。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	0 / 6	2名の隊員を委嘱し、活動している。	
	成果向上の余地	0 / 6								
	2名の隊員を委嘱し、活動している。									
④	成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	6					
⑤	事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2						
効率性	⑥	事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現時点ではコストに無駄はない。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	現時点ではコストに無駄はない。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	現時点ではコストに無駄はない。									
⑦	他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6					
⑧	民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2						
公平性	⑨	受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">目的地域(焼山地区、休屋地区)に、それぞれ1名隊員を配置した。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	目的地域(焼山地区、休屋地区)に、それぞれ1名隊員を配置した。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
目的地域(焼山地区、休屋地区)に、それぞれ1名隊員を配置した。										
⑩	受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2	4					
現在の適性					20 / 20	改善の余地	0 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

<p>目標の2名の隊員を任用した。 各隊員は、地域の観光資源等の調査や地域住民との交流、及びイベント等に参加している。</p>
<p>今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。</p>
<p>観光資源の調査及び活用方法の検討、イベントの企画、実施、地域事業との連携を行い、地域の活性化につながる活動を実施していく。</p>